



NIIGATA SEIRYO

式 辞

みなさん、入学おめでとうございます。新潟青陵大学の教職員一同を代表して、皆さんの入学を心より歓迎いたします。今日まで成長を温かく見守り、支援してこられたご家族をはじめ、関係するすべての方々に対して心よりお祝い申し上げます。

皆さんが入学した新潟青陵大学は2000年に開学し、今年で25周年を迎えます。大学の母体である新潟青陵学園は、1900年に帝国婦人協会創設者・下田歌子女史が新潟を来訪したことを機に設立された「裁縫伝習所」に源流があり、今年で125周年を迎えます。学園の建学の精神は「日進の学理を応用し、勉めて現今の社会に適応すべき実学を教授する」であり、現在まで継承されています。この建学の精神を今の言葉でより分かりやすく言い換えると、「最新の学問を活用し、現代社会の課題を解決するための実践的な知識と技能を教える」となります。地域の人材育成のニーズに応え、看護、福祉、心理、教育の分野で、人を支え、人生の質を高め、人を笑顔にする専門的職業人を養成することが、本学の使命です。さて、入学生の皆さんは、大学在学中にどんなことをしてみたいですか。色々な計画や目標を立てていることと思います。もし、何も立てていないなら、どんなことでもいので、考えてみてください。1年後に、卒業する時に、10年後に、20年後に、どんなことができるようになっていきたいか、思い描いてみてください。夢は必ず叶うものではありませんが、自分で思い描いていないことは自分に起きることはありません。計画どおり行かなくてもよいのです。目標を見失わずに、計画を何度でも立て直しましょう。途中で目標自体を変えても構いません。柔軟に臨機応変に、諦めずに進んでください。

現代は、変動が大きく、不確実なことが多く、様々な要因が複雑に絡み合い、簡単に解決策がみつからず、曖昧な状態を受け入れざるをえない時代です。こういった時代に、大学で学ぶことになった皆さんに、私からアドバイスを3つ授けます。

1つ目は、ケアする心（です）。目標にしている職業に必要な、知識と技能を身に付けることは、必要条件ではありますが、十分条件ではありません。皆さんが

目指している看護、福祉、心理、こどもの専門職は、人と深くかかわる職業です。相手の心の痛みを感じ取り、どんな状況でも、自分の言葉で語り、人と接する能力が求められます。知識と技能だけでなく、他人をケアする心を育ててください。2つ目は、チャレンジする心（です）。どんな分野でも身につけた知識と技能では解決できない問題に直面することがあり、教えられた問題解決手法では答えが見つからない場合は、自分で新しい手法を考えなければなりません。自分の目でみたこと、自分が集めた情報をもとに、自分で判断することが必要であり、自分が学んだ知識体系自体を疑ってみることも必要になります。そのために、失敗を恐れずに、未解決な問題にひるむことなく、チャレンジする心も育ててください。

3つ目は、多様な人との交流（です）。ケアする心、チャレンジする心を育てるためには、なるべく多様な人とのつながりを持つことが重要です。自分の価値観や嗜好性と違う人とも積極的に意見を交換することを心がけてください。思わぬ発見があるものです。今週末、妙高で行われるオリエンテーションキャンプは、それを試す絶好の機会です。卒業生の中には、このキャンプが学生時代のもっとも印象に残ったイベントの一つだという人もいます。

入学生のみなさんが、本学において、ケアする心とチャレンジする心を育み、多様な人との交流を果たし、目標に向かって進み続けていけるように、教職員一同、精一杯努力することをお約束して、私の式辞とします。

2025年4月2日

新潟青陵大学
学長 木村 哲夫